

2013年1月

「海外事業者が取引条件に求める品質管理水準等に関する 情報提供のお願いについて」の結果報告書

財団法人食品産業センター

財団法人食品産業センターでは農林水産省の補助を受け、輸出志向のある食品製造事業者および農林漁業者等を対象に、海外の取引先事業者が取引条件として求める衛生管理水準あるいは品質管理水準等に関する情報提供事業を進めるに当たり、当センター会員の食品企業を対象として当該案件についてアンケート調査を実施し、その回答結果を取りまとめたので報告する。

1. 実施概要

- 実施期間 : 2012年10月15日(月)～11月9日(金)
- 実施方法 : 郵送によるアンケート票記入(回収は郵送、FAX、メール)
- 対象企業 : (財)食品産業センター会員の食品企業127社
- 回収状況 : 回答企業43社(回答率34%)

2. 結果概要

当センター会員食品企業127社を対象にアンケート調査を実施し、43社から回答を得た。海外事業者からの調査票については提供されなかったが、問合せ内容についての設問には海外取引が有り問合せがあった17社24件の回答が寄せられた。アンケート集計結果の概略は次の通りであった。

- ・回答企業の業種について、売上高第1位の業種を小分類・細分類20業種で質問したところ、「調味料」の細分類「味噌」「ソース」を除いた18業種から回答があった。回答企業数の多い業種は「菓子・パン」>「その他調味料」および「その他」の順であった。
- ・導入している品質管理手法についての設問では、回答企業の全てが何らかの手法を導入していた。その最多導入手法は「ISO9001」(33社)で、回答企業の8割を占めた。
- ・また、「総合衛生管理製造過程(マル総)」と「高度化計画(HACCP法)」の両者については、ほぼ半数の企業が両者か、または両者のいずれかを導入していた。
- ・海外取引の有無についての設問では、6割以上の企業が「海外取引が有る」と回答した。
- ・「海外取引が有る」企業数の多い業種は、「調味料(計)」および「菓子・パン」であった。また、海外取引の有る割合については、「水産食料品」が最も高く、次いで「調味料(計)」および「菓子・パン」であった。

・輸出先を「東アジア」「北米」「EU」等11地域に区分けして質問したところ、延べ136地域の回答があった。1社当たりの選択数が多かったのは4地域(7社)で、次いで9地域(5社)であった。また、全ての地域を選択した企業も2社あった。地域別では、「東南アジア」にはほぼ全ての企業が輸出しており、次いで「北米」には8割の企業が、「東アジア」には7割の企業が輸出していた。

・この「海外取引が有る」企業の7割が、海外取引先から衛生管理あるいは品質管理に関する「問合せが有る」と回答した。

・問合せ元の取引先の所在国数については、約6割の企業が「5カ国以上」の国から問合せが有る、と回答した。直近1年以内に問合せがあった取引先の所在国についての回答では、多い順にアメリカが最多の10社で、被問合せ企業の半数以上であった。次いでイギリスとタイの5社であった。問合せ元を地域別で見ると、多い順にアジアが最多で8カ国延べ22社、次いでヨーロッパが6カ国・地域延べ18社、北米が2カ国13社であった。

・また、被問合せ企業の7割弱の企業が「5社以上」の海外取引先から問合せがあった、と回答した。その問合せ元の業種は、輸入業・卸業が4割、製造業が3割であった。小売業は2割弱と少なく、また、単独での選択回答は無く、製造業または輸入業・卸業との複数選択での回答であった。

・インスペクションの有無の設問では、海外取引先からの「問合せが有る」企業の6割強が「インスペクションが有る」と回答した。

・問合せの調査票等の提出の可否を質問したところ、全ての企業から「調査票等は提供できない」との拒否回答であった。その理由としては「相手先の同意が必要なため」「機密情報のため」が過半であった。

・問合せ元の取引先所在国としては、アメリカとの回答が最多の5社で、次いでイギリスが4社、タイが3社の順であった。これを地域別で見ると、ヨーロッパ地域が9社、北米地域が7社、アジア地域が6社であった。

・問合せ元の海外取引先の業種は、「輸入業・卸業」が4割強(9社)で、「製造業」および「小売業」は各3割弱(6社)であった。

・調査対象品目の業種としては、「調味料(計)」および「その他」が多く、次いで「菓子・パン」の順であった。

・問合せ元から求められた管理水準としては、多い順に「一般的衛生管理」>「HACCP」>「一般的衛生管理・HACCP+マネジメント」であったが、これら三者間には大差なかった。

・問合せ元から求められた第三者認証では「ISO9001」>「総合衛生管理製造過程」=「営業許可証」の順で、回答率4割前後であった。

・調査方法については、「チェック方式」が6割強、「自由記述方式」が3割強であった。

・取引先からの問い合わせ内容について、設問項目毎にその有無を○印や✓印等によるチェック方式での回答表を作成した。回答結果の概略は次の通りであった。

・問合せ項目の各回答率には大差が見られたが、設問33項目のすべてについて「有り」の選択回答があった。

- ・問合せの多い項目は、「製造工程の管理について」他1項目>「第三者認証の取得あるいは提示について」の順で8割前後の回答率であった。次いで「調達原材料の保管および品質管理について」「製造工程中の検査および品質管理について」「防虫・防鼠体制について」「工場の衛生管理の取組について」他1項目の計5項目は同じ回答率3/4であった。
- ・少ないのは、「遺伝子組換え微生物の使用・管理について」「製造責任の範囲等について」が最少(回答率1/4)で、次いで「顧客情報の収集および管理体制について」(1/3)であった。
- ・問合せ元の地域別の特徴としては、ヨーロッパ地域は全ての項目について1/3以上の問合せ率で高値傾向であった。中でも「遺伝子組換え食品の使用・管理について」「工場の衛生管理の取組について」他4項目の計6項目が9割弱の問合せ率であった。
- ・北米地域は総じて問合せ率は高く(4割以上)、中でも「第三者認証取得あるいは提示について」「製造工程の管理について」他1項目の計3項目で10割の問合せ率であったが、唯一「遺伝子組換え微生物の使用・管理について」は1件と極少であった。
- ・アジア地域は概ね5割以下と低く、「遺伝子組換え微生物の使用・管理について」「製造責任の範囲について」の2項目は問合せがなく0件であった。
- ・問合せ元の業種別の特徴としては、製造業では「第三者認証取得あるいは提示について」「製造工程の管理について」の2項目が8割以上と高く、また、「HACCPの運用について」や「防虫・防鼠体制について」等の衛生管理・品質管理に関する各項目についての問合せ率も2/3以上と高かった。しかし、「コンプライアンスの取組等について」は1件と極少であった。
- ・輸入業・卸業では製造業と同じような衛生管理・品質管理項目で高問合せ率(2/3)であったが、「顧客情報の収集および管理体制について」「製品(顧客)苦情の受付・対応および管理体制について」の2項目が1件と極少であった。
- ・また、小売業では総じて高い問合せ率(7~8割)であるが、「遺伝子組換え食品の使用管理について」「遺伝子組換え微生物の使用・管理について」「製造責任の範囲について」の3項目は1件と極少であった。

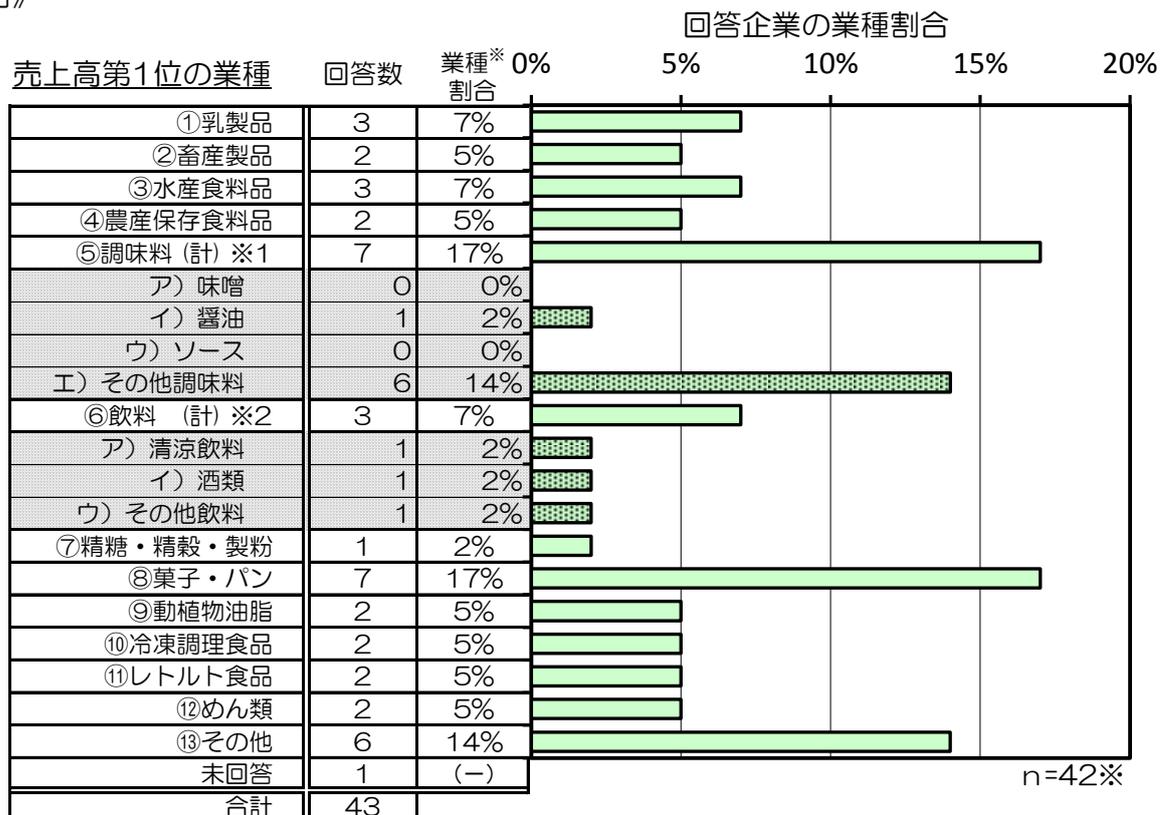
アンケート調査集計結果

【1. 貴社の概要】貴社の概要についてお伺いいたします。

1.1 業種：貴社の売上高第1位の業種を、以下の中から選んでください。

- | | |
|-------------|------------------------|
| ①乳製品 | ②畜産製品 |
| ③水産食料品 | ④農産保存食料品 |
| ⑤調味料 ア) 味噌 | イ) 醤油 ウ) ソース エ) その他調味料 |
| ⑥飲料 ア) 清涼飲料 | イ) 酒類 ウ) その他飲料 |
| ⑦精糖・精穀・製粉 | ⑧菓子・パン |
| ⑨動植物油脂 | ⑩冷凍調理食品 |
| ⑪レトルト食品 | ⑫めん類 |
| ⑬その他 | |

《回答》



※nは回答企業数から未回答数を割愛。業種割合はnに対する回答割合。

※1：⑤調味料については、小分類(計)と細分類の両者の回答を示した。

※2：⑥飲料については、JSICの小分類を細分類並として質問し、小分類(計)と細分類の両者の回答を示した。

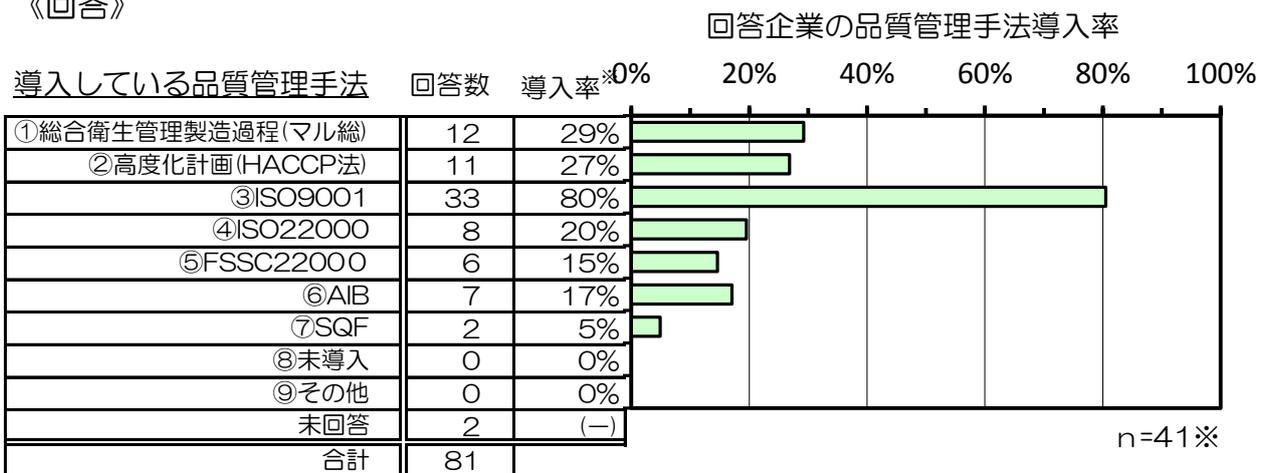
・アンケート回答企業数は、当センター会員食品企業に送付した127社中43社(回答率34%)であった。

- ・回答企業の業種については、「調味料」の細分類「味噌」「ソース」を除いた18業種から回答があった。業種別では「菓子・パン」が最多の7社からあり、次いで「その他調味料」も6社と多かった。
- ・「その他調味料」の製造業としては食酢などの、また「その他」の製造業としては食品添加物、コーヒー、包装餅・包装米飯などの回答があった。

1.2 貴社が導入している品質管理手法を、以下の中から選んでください。
(複数回答可)

①総合衛生管理製造過程(マル総) ②高度化計画(HACCP法)
③ISO9001 ④ISO22000
⑤FSSC22000 ⑥AIB
⑦SQF ⑧未導入
⑨その他()

《回答》



※nは回答企業数から未回答数を割愛。導入率はnに対する回答割合。

- ・導入手法数は延べ79件で、有効回答企業数41社のほぼ2倍であった。
- ・導入手法別では「ISO9001」が最多の33社で、回答企業の8割が導入していると回答した。
- ・「総合衛生管理製造過程(マル総)」および「高度化計画(HACCP法)」の導入率は各3割弱であった。両者とも導入企業は4社(10%)、両者のいずれかを導入企業は15社(37%)であった。両者を合算した導入企業数は19社(46%)で、ほぼ半数の企業が導入していた。
- ・「未導入」の企業および「その他」の手法を導入している企業は無かった。

【2. 海外取引の概要】貴社の海外取引状況についてお伺いいたします。

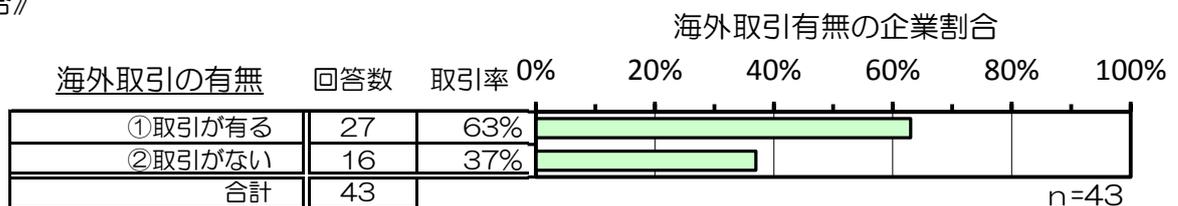
2.1 貴社は海外取引がありますか？ 有無をお答えください。

- ①取引が有る ②取引がない

「取引が有る」と回答した企業は、次問以降の質問にお答えください。

「取引がない」と回答した企業は、1ページ「ご記入者又は問い合わせ先」に貴社名をご記入の上、本回答書をご返送ください。

《回答》



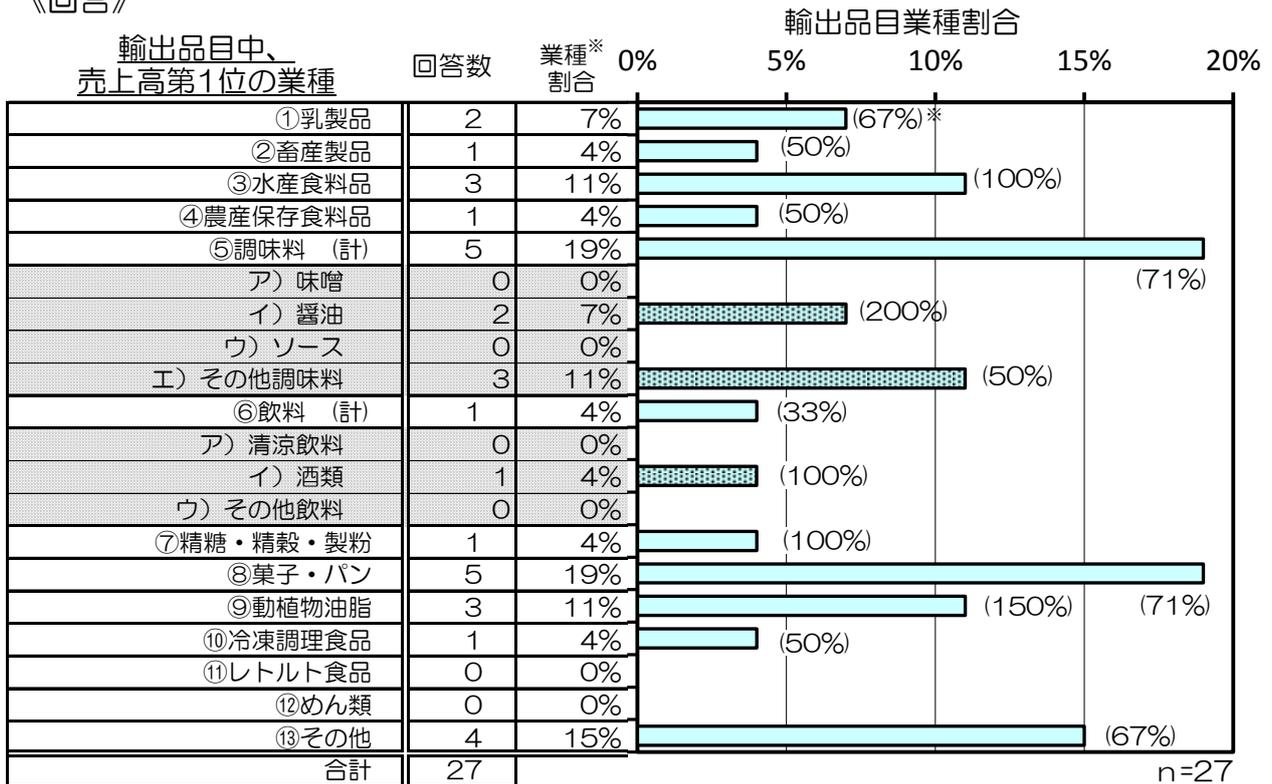
- ・アンケート回答企業43社中27社(63%)が海外との「取引が有る」と回答。

☆次問以下については、設問2.1で「取引が有る」と回答した27社について整理した。

2.2 貴社の輸出品目の中、売上高第1位の業種を選んでください。

- | | |
|----------------|------------------------------|
| ①乳製品 | ②畜産製品 |
| ③水産食料品 | ④農産保存食料品 |
| ⑤調味料 ア) 味噌 | イ) 醤油 ウ) ソース 工) その他調味料 |
| ⑥飲料 ア) 清涼飲料 | イ) 酒類 ウ) その他飲料 |
| ⑦精糖・精穀・製粉 | ⑧菓子・パン |
| ⑨動植物油脂 | ⑩冷凍調理食品 |
| ⑪レトルト食品 | ⑫めん類 |
| ⑬その他 | |

《回答》



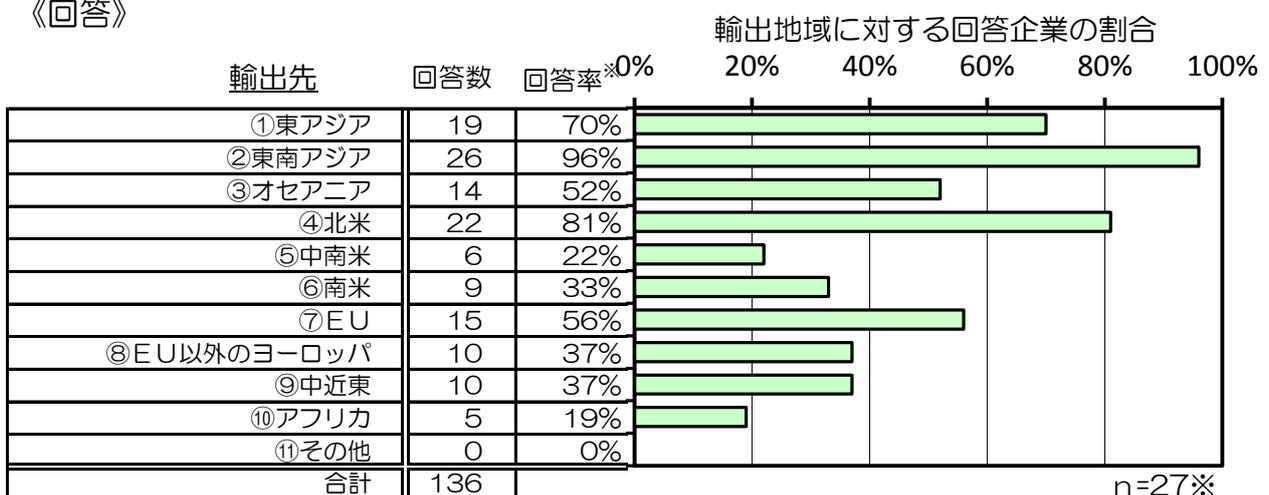
※業種割合はnに対する割合。参考として設問1.1の回答数との比較割合を図中に(%)で示した。

- ・回答数の多い業種は国内売上と同じ傾向の「調味料(計)」と「菓子・パン」の各5社。
- また、設問1.1との比較から、国内と海外では売上第1位品目の業種が異なる例があった。

2.3 貴社の輸出先を以下の中から選んでください。(複数回答可)

①東アジア	②東南アジア	③オセアニア
④北米	⑤中南米	⑥南米
⑦EU	⑧EU以外のヨーロッパ	⑨中近東
⑩アフリカ	⑪その他()	

《回答》



※nは、設問2.1で海外との「取引が有る」企業数。回答率はnに対する回答割合。

- ・輸出先は延べ136地域であった。1社当たりの輸出地域数が多かったのは4地域(7社)で、次いで9地域(5社)であった。全ての地域に輸出していた企業も2社あった。
- ・輸出先別では「東南アジア」が最多の26社(96%)で、ほぼ全ての企業が輸出していた。次いで「北米」>「東アジア」の順で、「北米」には8割、「東アジア」には7割の企業が輸出していた。一方、「中南米」「アフリカ」への輸出は少なく、2割前後であった。

【3. 問合せ情報】 海外取引先からの衛生管理や品質管理水準等についての問合せについてお伺いいたします。

3.1 これまでに海外の取引先から衛生管理や品質管理水準等について問合せがありましたか？ 有無をお答えください。

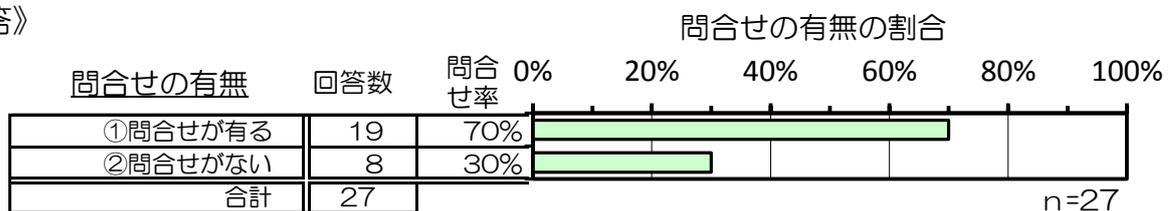
①問合せが有る

②問合せがない

「問合せが有る」と回答した企業は、次問以降の質問にお答えください。

「問合せがない」と回答した企業は、1ページ「ご記入者又は問い合わせ先」に貴社名をご記入の上、本回答書をご返送ください。

《回答》



- ・海外との「取引が有る」と回答した企業27社中19社(70%)が「問合せが有る」と回答。

☆次問以下については、設問3.1で「問合せが有る」と回答した19社について整理した。

3.2 これまで問合せがあった海外取引先の所在国の数を、以下の中から一つ選んでください。

① 1カ国

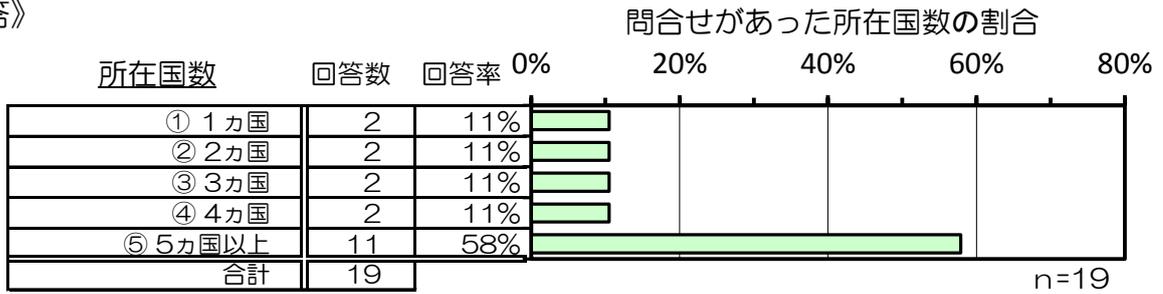
② 2カ国

③ 3カ国

④ 4カ国

⑤ 5カ国以上

《回答》

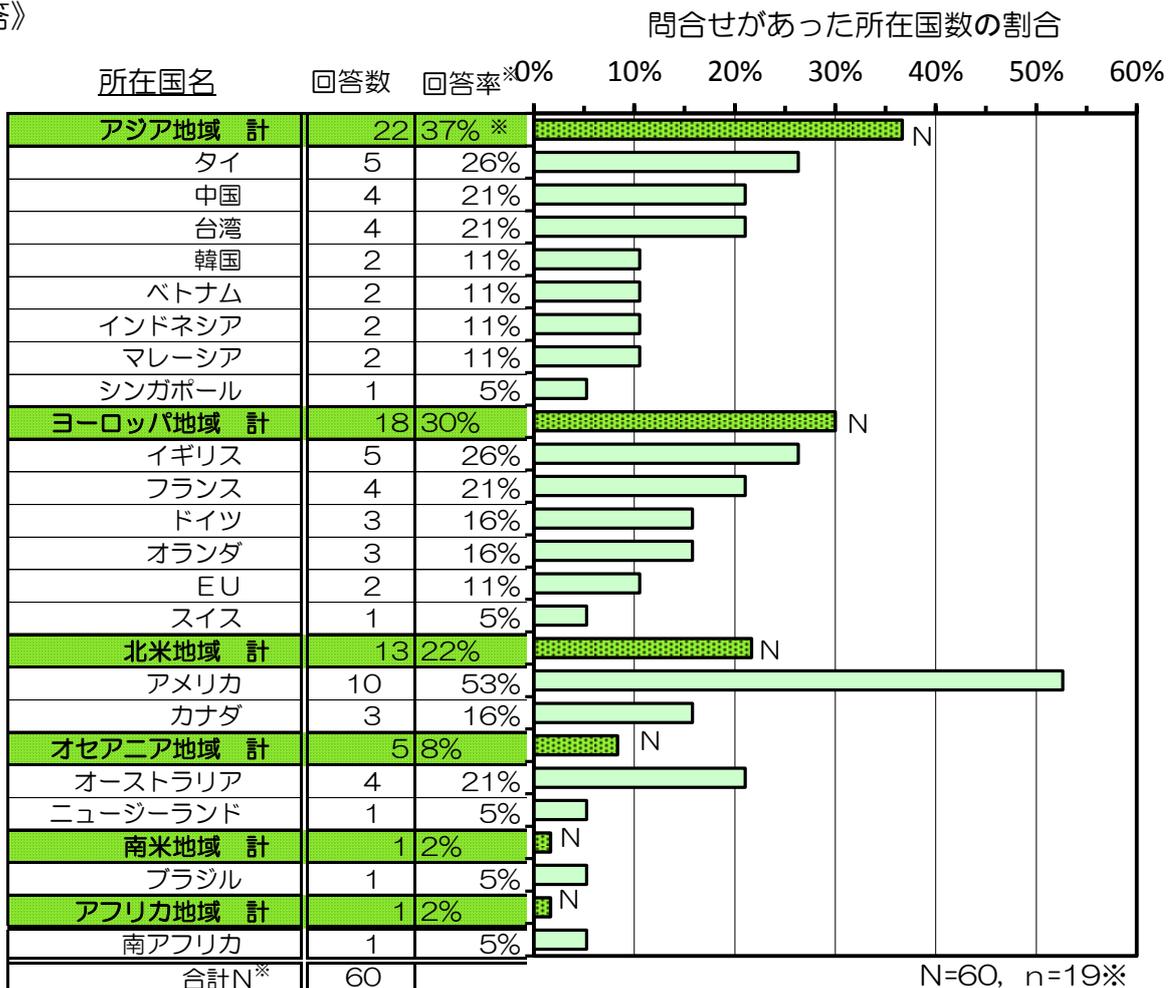


・海外取引先からの「問合せが有る」企業の6割弱が「5カ国以上」から問合せがあると回答した。

更問1 直近1年以内に問合せがあった海外取引先の所在国名をお答えください。
(複数回答可)

① () ② () ③ ()
 ④ () ⑤ ()

《回答》



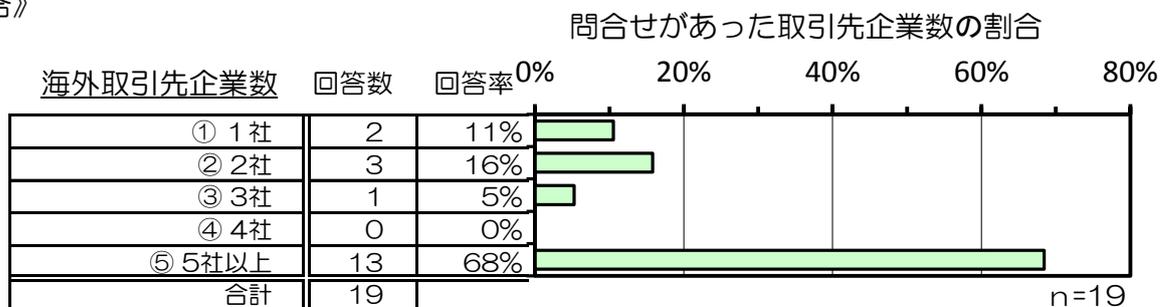
※nは、設問3.1で海外取引先からの「問合せが有る」企業数。各地域および各所在国の回答率はそれぞれNおよびnに対する回答割合。

- ・問合せ元の取引先の所在国別では、アメリカからが最多の10社で、設問3.1で海外取引先からの「問合せが有る」と回答した企業(19社)の半数以上であった。次いでイギリスおよびタイからの5社であった。
- ・地域別では、アジア地域が最多の22件、次いでヨーロッパ地域18件、北米地域13件の順であった。南米地域およびアフリカ地域は各1カ国と少なかった。

3.3 これまで問合せがあった海外取引先の企業数を、お答えください。

- ① 1社 ② 2社 ③ 3社
④ 4社 ⑤ 5社以上

《回答》

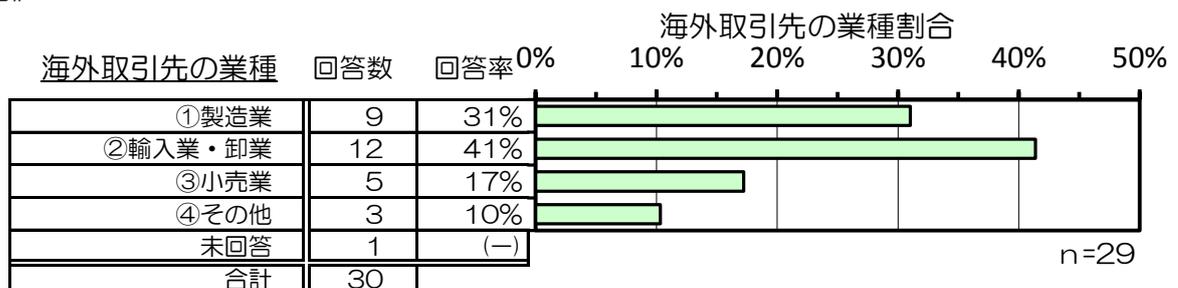


- ・海外取引先からの「問合せが有る」企業の7割弱が「5社以上」の取引先から問合せがあったと回答。

更問1 直近1年以内に問合せがあった海外取引先の業種を、以下の中から選んでください。(複数回答可)

- ①製造業 ②輸入業・卸業
③小売業 ④その他()

《回答》



- ・問合せ元の海外取引先の業種は、「輸入業・卸業」が最多12社(41%)、次いで「製造業」が9社(31%)で、「小売業」からの問合せは5社(17%)と少なかった。

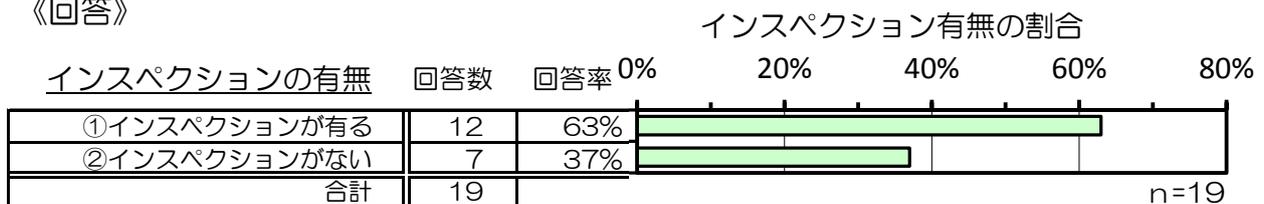
- ・「小売業」からの問合せがあるとの回答においては単独回答はなく、「製造業」あるいは「輸入業・卸業」との複数選択での回答であった。
- ・「その他」の業種としては輸出先当局などの回答であった。

3.4 貴社に対するインスペクションがありましたか？ 有無をお答えください。

①インスペクションが有る

②インスペクションがない

《回答》



- ・海外取引先からの「問合せが有る」企業の6割強が、取引先からの「インスペクションが有る」と回答した。

3.5 問合せの調査票等の提供の可否を、お答えください。

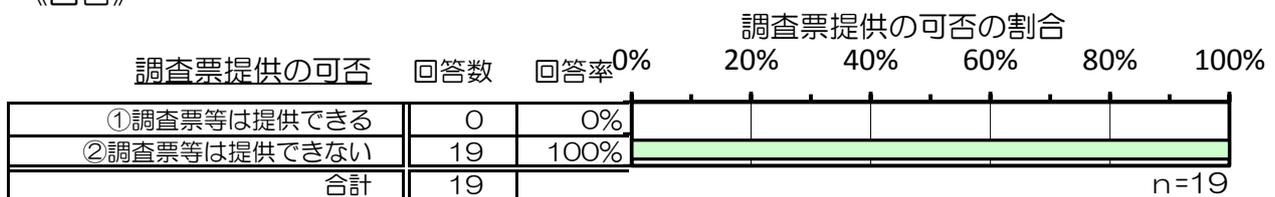
※いただいた調査票等は、分析のみに使用します。調査票等あるいはその一部を公開することはございません。提供にご協力をお願いします。

①調査票等は提供できる

②調査票等は提供できない

「調査票等は提供できる」と回答した企業は、本回答書の返送時に調査票等のコピーの添付をお願い致します。

《回答》

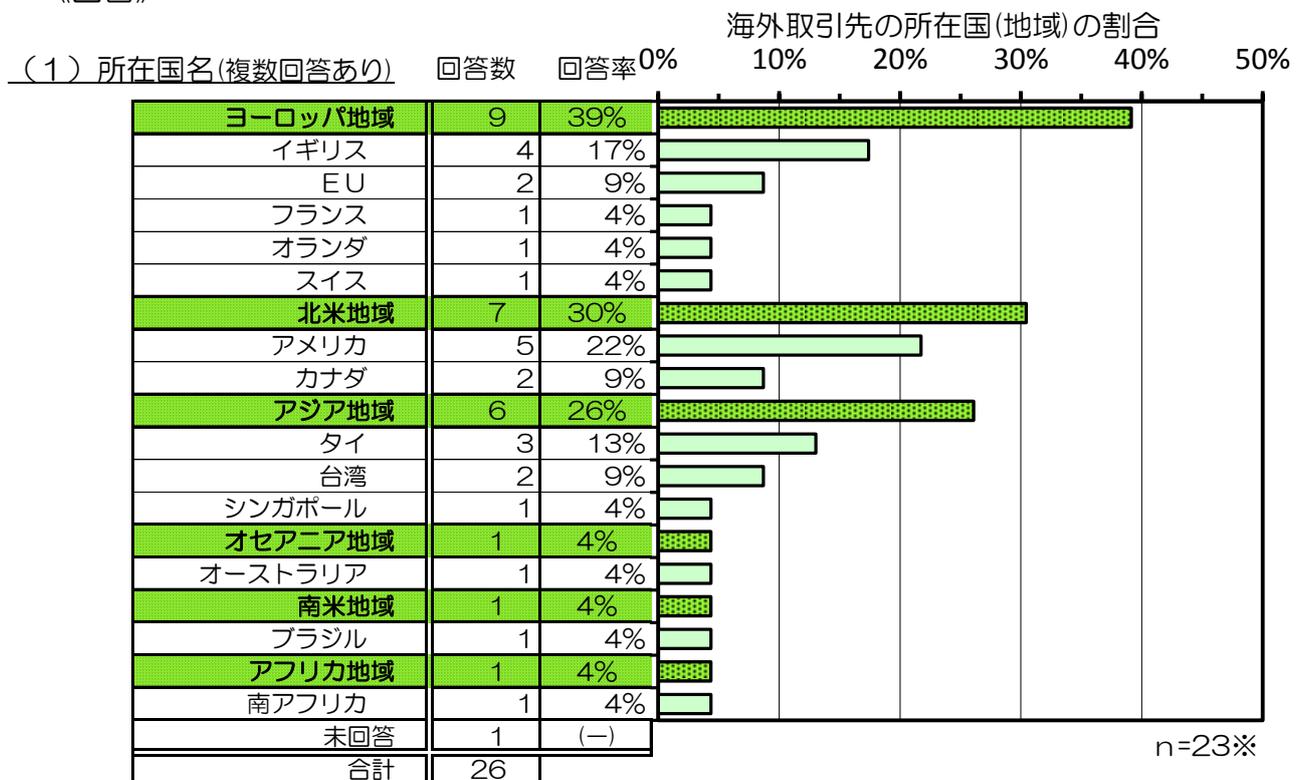


- ・調査票等の提供については、海外取引先からの「問合せが有る」企業の全てが「調査票等は提供できない」との拒否回答であった。

(3) 調査対象品目の業種

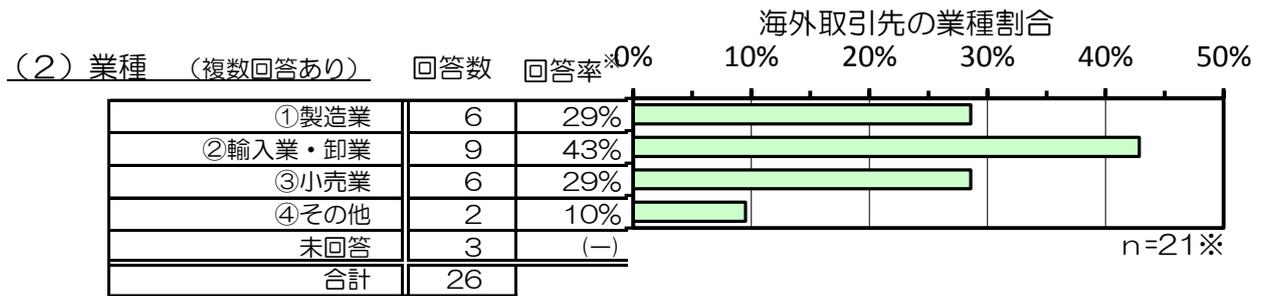
- | | |
|---|----------|
| ①乳製品 | ②畜産製品 |
| ③水産食料品 | ④農産保存食料品 |
| ⑤調味料 ア) 味噌 イ) 醤油 ウ) ソース エ) その他調味料 | |
| ⑥飲料 ア) 清涼飲料 イ) 酒類 ウ) その他飲料 | |
| ⑦精糖・精穀・製粉 | ⑧菓子・パン |
| ⑨動植物油脂 | ⑩冷凍調理食品 |
| ⑪レトルト食品 | ⑫めん類 |
| ⑬その他 | |

《回答》



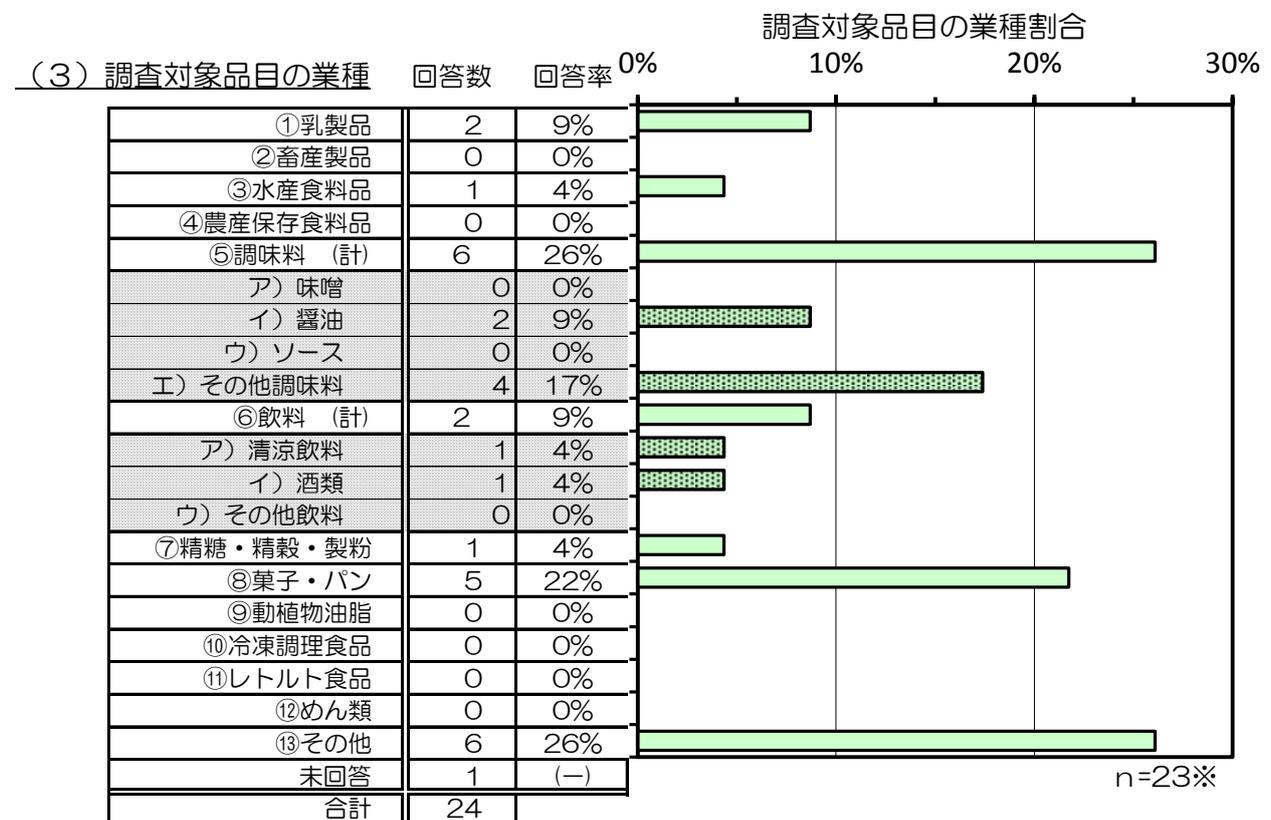
※nは調査概要回答数から未回答数を割愛。回答率はnに対する回答割合。なお、複数回答についてはそれぞれの国でカウントした。

- ・問合せ元の取引先所在国を地域別で整理すると、ヨーロッパ地域が4割弱(9社)、北米地域が3割(7社)、アジア地域が3割弱(6社)の割合であった。
- ・取引先所在国別で整理すると、アメリカからが最多の2割強(5社)、次いでイギリスからが2割弱(4社)、タイからが1割強(3社)の割合であった。



※nは調査概要回答数から未回答数を割愛。回答率はnに対する割合。なお、複数回答についてはそれぞれの業種でカウントした。

- ・問合せ元の海外取引先の業種は、「輸入業・卸業」が最多で4割強(9社)、「製造業」と「小売業」は各3割弱(6社)の割合であった。
- ・「その他」業種としては2件の回答があったが、その問合せ元はFDAおよびブラジル当局との回答であった。



※nは調査概要回答数から未回答数を割愛。

- ・調査対象品目の業種としては、多い順に「調味料 (計)」(26%)、「菓子・パン」(22%) であった。調味料の細分類としては「その他調味料」(17%)と「醤油」(9%)であった。

4.2 海外取引先から求められた、あるいは問合せのあった衛生管理の水準を、以下の中から一つ選んでください。

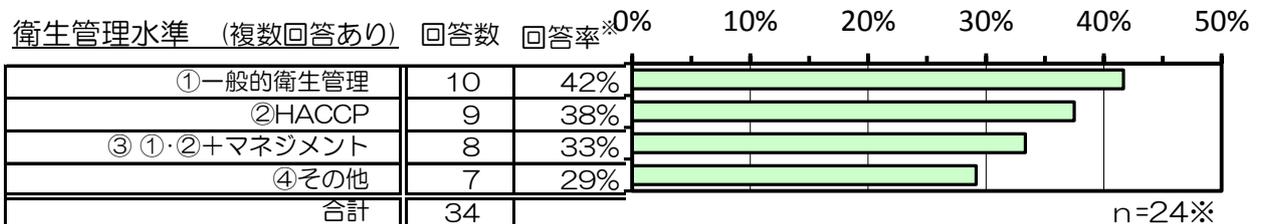
- ①一般的衛生管理
- ②HACCP

③ ①・②+マネジメント (ISO22000等)

④その他 ()

《回答》

取引先から求められた衛生管理水準の割合



※nは調査概要回答数と同じ回答数。回答率はnに対する回答割合。なお、複数回答についてはそれぞれの水準でカウントした。

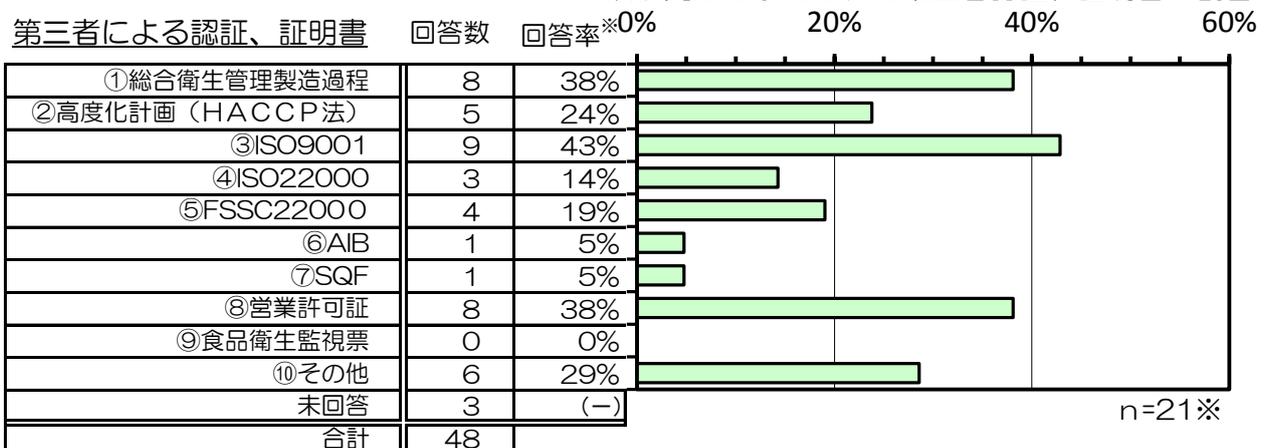
- ・問合せ元の取引先から求められた管理水準としては、多い順に「一般的衛生管理」(4割強)、「HACCP」(4割弱)、「一般的衛生管理・HACCP+マネジメント」(3割強)であったが、これら三者間には大差なかった。
- ・「その他」の管理水準としては、Food Defense、放射能検査証明書・微生物検査証明書、ISO9001、GFS認証スキームなどの回答であった。

4.3 海外取引先から求められた第三者による認証または証明書がありましたら、以下の中から選んでください。(複数回答可)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| ①総合衛生管理製造過程 (マル総) | ②高度化計画 (HACCP法) |
| ③ISO9001 | ④ISO22000 |
| ⑤FSSC22000 | ⑥AIB |
| ⑦SQF | ⑧営業許可証 |
| ⑨食品衛生監視票 | ⑩その他 () |

《回答》

取引先から求められた第三者認証、証明書の割合



※nは調査概要回答数から未回答数を割愛。回答率はnに対する回答割合。

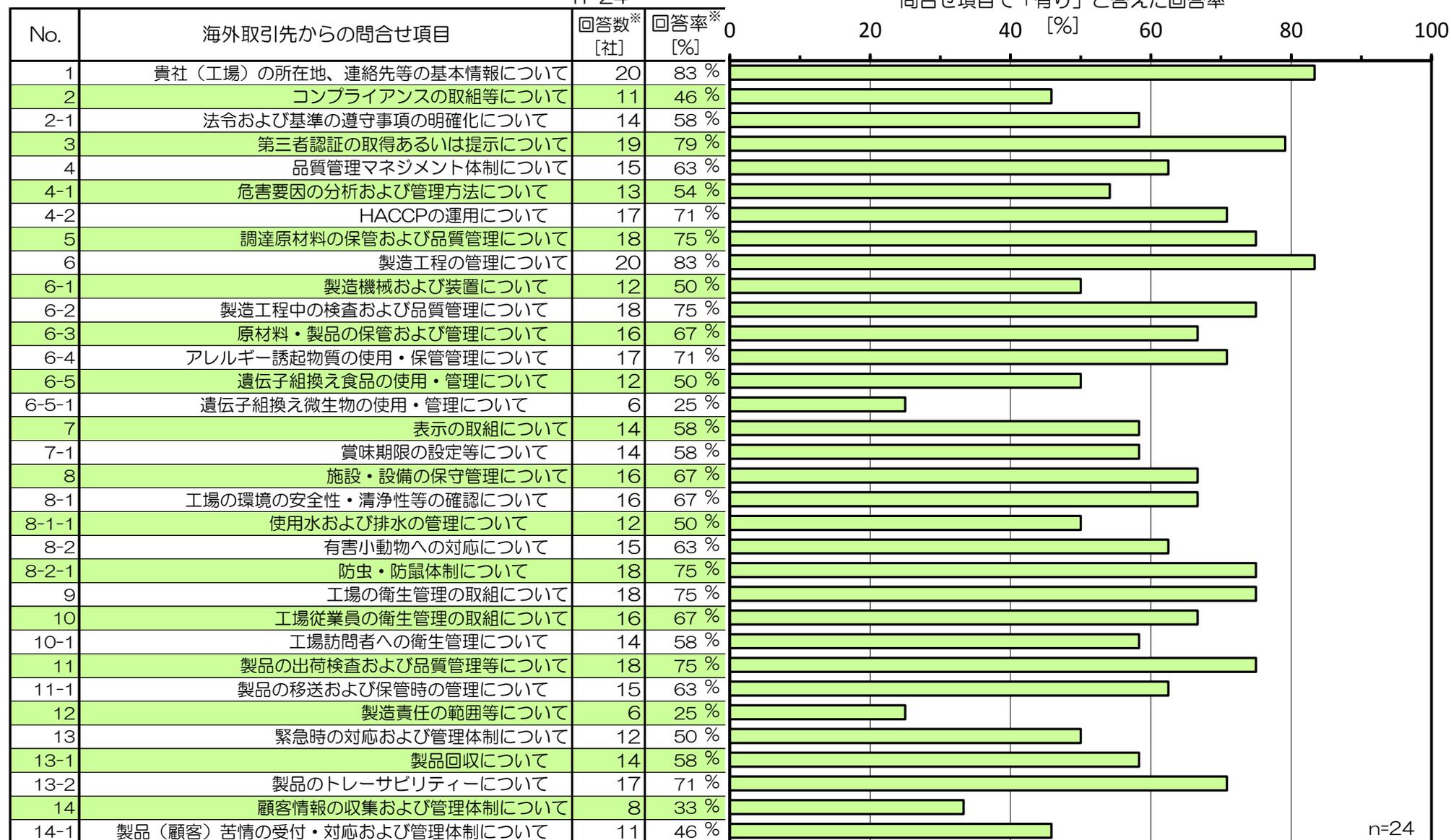
4.5 海外取引先からの問合せ内容について、下表各項目の有無をチェック欄に○印や✓印等でお答えください。

No.	海外取引先からの問合せ項目	チェック欄	
		有り	なし
1	貴社（工場）の所在地、連絡先等の基本情報について		
2	コンプライアンスの取組等について		
2-1	法令および基準の遵守事項の明確化について		
3	第三者認証の取得あるいは提示について		
4	品質管理マネジメント体制について		
4-1	危害要因の分析および管理方法について		
4-2	HACCPの運用について		
5	調達原材料の保管および品質管理について		
6	製造工程の管理について		
6-1	製造機械および装置について		
6-2	製造工程中の検査および品質管理について		
6-3	原材料・製品の保管および管理について		
6-4	アレルギー誘起物質の使用・保管管理について		
6-5	遺伝子組換え食品の使用・管理について		
6-5-1	遺伝子組換え微生物の使用・管理について		
7	表示の取組について		
7-1	賞味期限の設定等について		
8	施設・設備の保守管理について		
8-1	工場の環境の安全性・清浄性等の確認について		
8-1-1	使用水および排水の管理について		
8-2	有害小動物への対応について		
8-2-1	防虫・防鼠体制について		
9	工場の衛生管理の取組について		
10	工場従業員の衛生管理の取組について		
10-1	工場訪問者への衛生管理について		
11	製品の出荷検査および品質管理等について		
11-1	製品の移送および保管時の管理について		
12	製造責任の範囲等について		
13	緊急時の対応および管理体制について		
13-1	製品回収について		
13-2	製品のトレーサビリティについて		
14	顧客情報の収集および管理体制について		
14-1	製品（顧客）苦情の受付・対応および管理体制について		

《回答》

4.5 海外取引先からの問合せ内容①

n=24*

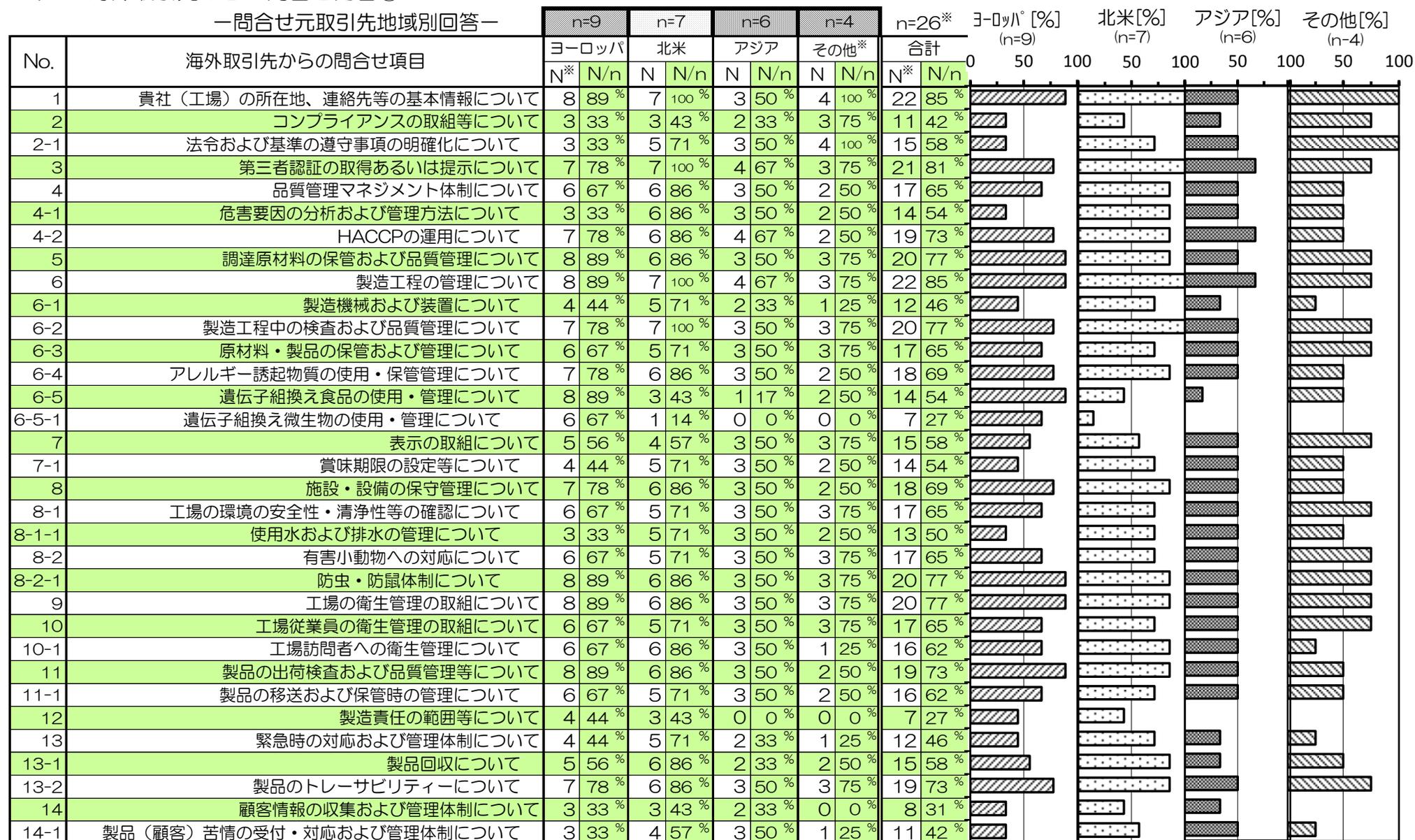


*nは調査概要回答数。回答数は各項目で「有り」と答えた回答数。回答率はnに対する回答割合。

《回答》

4.5 海外取引先からの問合せ内容②

－問合せ元取引先地域別回答－

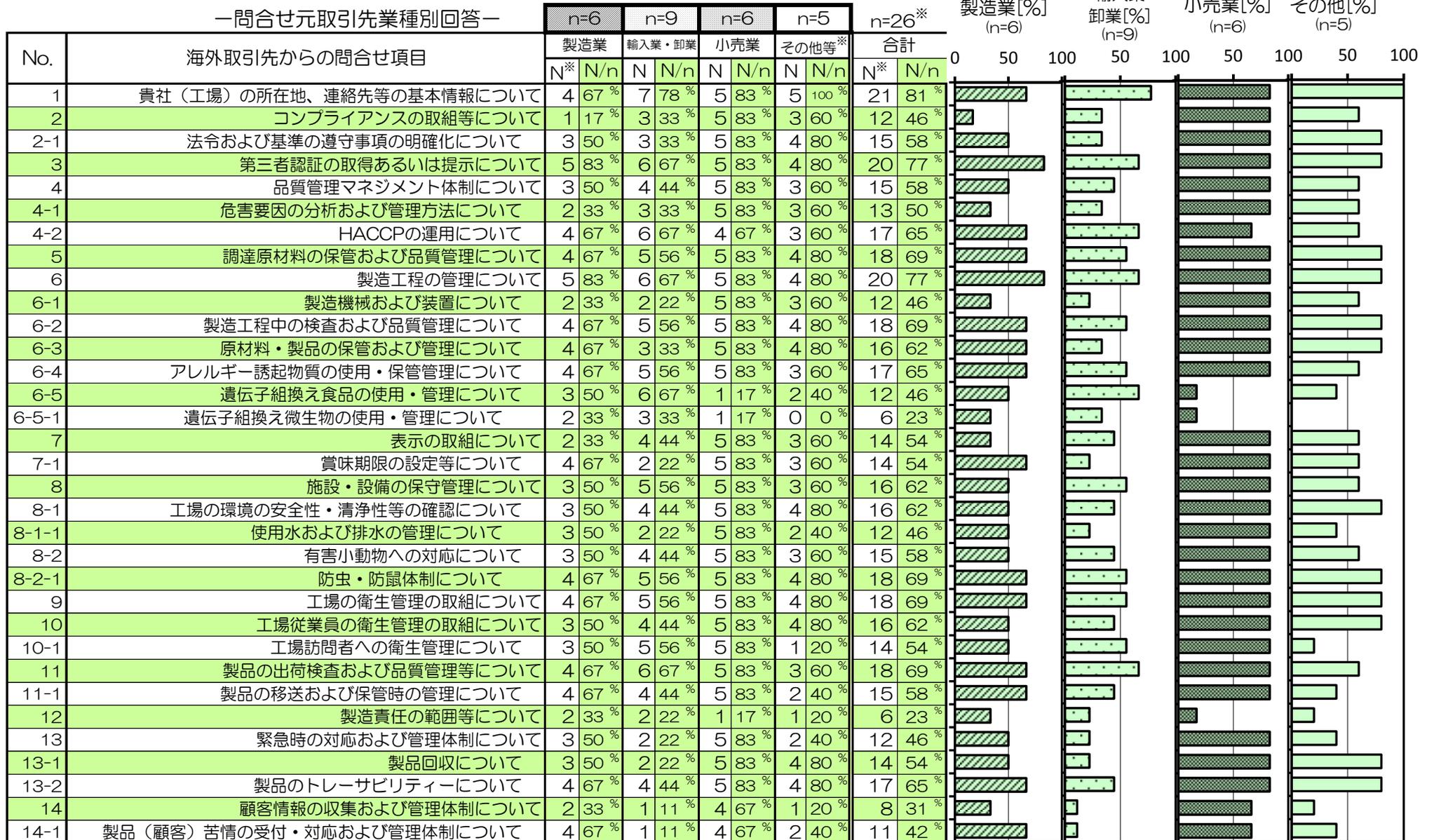


※nは回答数合計。各地域と合計のNは「有り」と答えた回答数。「その他」のNには地域未回答分1件を含む。なお、所在国の複数回答分は、それぞれの地域でカウントした。

《回答》

4.5 海外取引先からの問合せ内容③

－問合せ元取引先業種別回答－

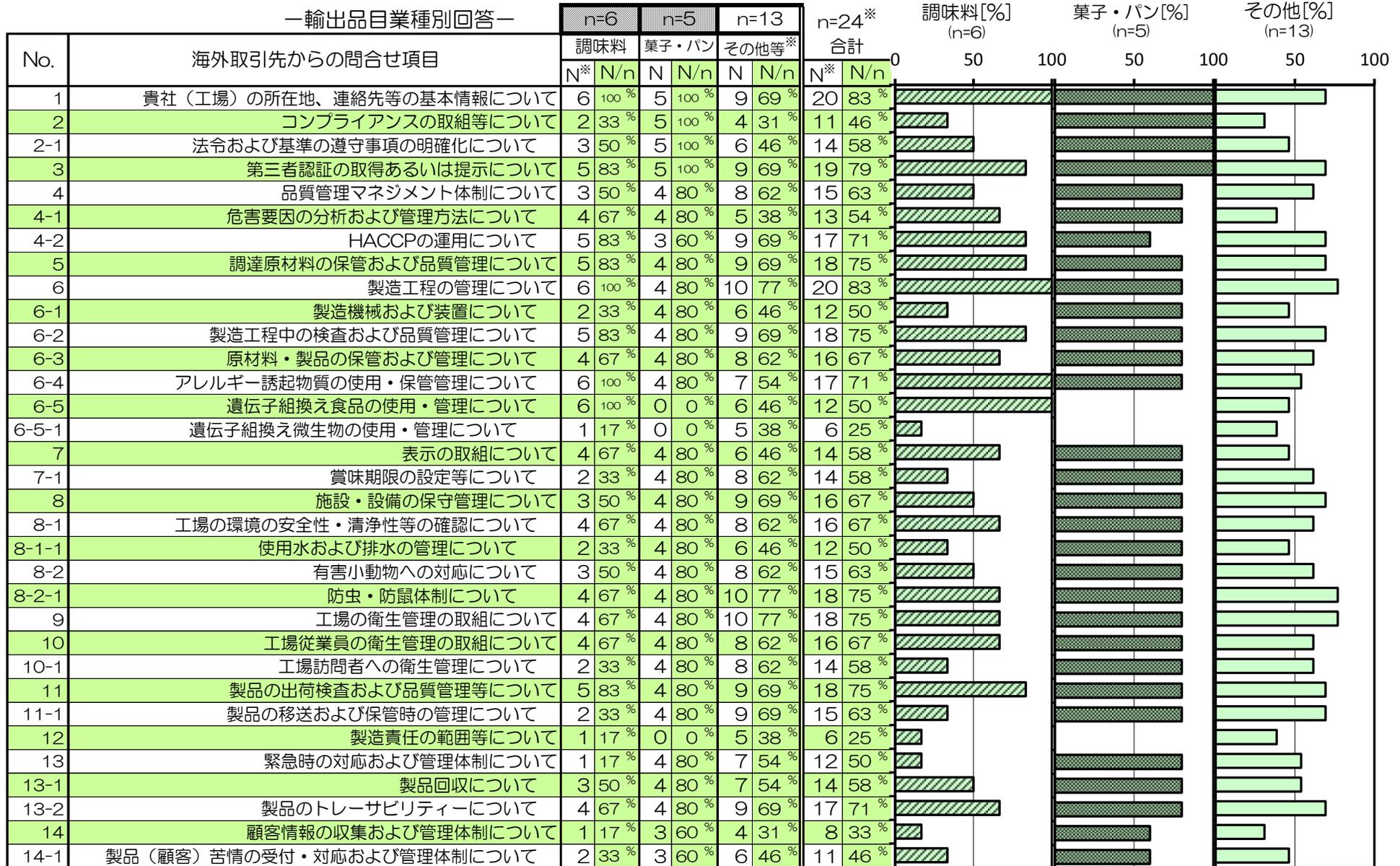


※nは回答数合計。各業種と合計のNは「有り」と答えた回答数。「その他等」のNには業種未回答分3件を含む。なお、取引先の業種の複数回答分は、それぞれの業種でカウントした。

《回答》

4.5 海外取引先からの問合せ内容④

－輸出品目業種別回答－



※nは回答数合計。各業種と合計のNは「有り」と答えた回答数、率はN/n。「その他等」には「調味料」「菓子・パン」以外のすべての業種を含む。

《回答》

- ・問合せ項目についての回答は、「有り」を選択した回答数で整理した。また、設問の(1)所在国（但し、各所在国の回答数が少数のため地域別に整理）、(2)業種および(3)輸出品目の業種のそれぞれの属性についても整理した。
- ・問合せ項目の各回答率には大差が見られたが、設問33項目のすべてについて「有り」の選択回答があった。
- ・問合せの多い項目は、No.1「貴社（工場）の所在地、連絡先等の基本情報について」とNo.6「製造工程の管理について」が最多の8割強、次いでNo.3「第三者認証の取得あるいは提示について」の8割弱であった。その次にNo.5「調達原材料の保管および品質管理について」、No.6-2「製造工程中の検査および品質管理について」、No.8-2-1「防虫・防鼠体制について」、No.9「工場の衛生管理の取組について」およびNo.11「製品の出荷検査および品質管理等について」の5項目は同じ回答率(3/4)であった。
- ・問合せの少ない項目は、No.6-5-1「遺伝子組換え微生物の使用・管理について」、No.12「製造責任の範囲等について」の2項目が最少(1/4)で、次にNo.14「顧客情報の収集および管理体制について」の1/3であった。
- ・本調査では、No.2「コンプライアンスの取組等について」とNo.2-1「法令および基準の遵守事項の明確化について」のように、上位項目(No.2)／下位項目(No.2-1)の想定で項目立てし設問を構成したが、No.2より2-1、No.8・8-2より8-2-1、No.13より13-1・13-2、No.14より14-1のように、上位項目より下位項目の選択数の方が多く見られた。
- ・問合せ元の地域別の特徴としては、ヨーロッパ地域は全ての項目について1/3以上の問合せ率で高値傾向であった。中でも「遺伝子組換え食品の使用・管理について」「工場の衛生管理の取組について」「製品の出荷検査および品質管理等について」他3項目の計6項目が9割弱の問合せ率であった。
- ・北米地域は総じて問合せ率は高く(4割以上)、中でも「第三者認証取得あるいは提示について」「製造工程中の検査および品質管理について」「製造工程の管理について」の3項目は10割の問合せ率であったが、唯一「遺伝子組換え微生物の使用・管理について」の項目は1件と極少であった。
- ・アジア地域は概ね5割以下と低く、中でも「遺伝子組換え微生物の使用・管理について」「製造責任の範囲について」の2項目は問合せがなく0件であった。
- ・問合せ元の業種別の特徴としては、製造業では「第三者認証取得あるいは提示について」「製造工程の管理について」の2項目が8割以上と高く、また、「HACCPの運用について」や「防虫・防鼠体制について」等の衛生管理・品質管理に関する各項目についての問合せ率も2/3以上と高かった。しかし、「コンプライアンスの取組等について」は1件と極少であった。
- ・輸入業・卸業では製造業と同じような衛生管理・品質管理項目で高問合せ率(2/3)であったが、「顧客情報の収集および管理体制について」「製品(顧客)苦情の受付・対応および管理体制について」の2項目が1件と極少であった。
- ・また、小売業では総じて高い問合せ率(7~8割)であるが、「遺伝子組換え食品の使用管理について」「遺伝子組換え微生物の使用・管理について」「製造責任の範囲について」の3項目は1件と極少であった。

以上